



Title	ウィリアム・モリスの限界
Author(s)	高井, 一郎
Citation	デザイン理論. 2002, 41, p. 115-116
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/53089
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

ウィリアム・モリスの限界

高井一郎

この研究発表のきっかけとなったのはロンドン南方にひろがるケント州の州立大学、ケント・インスティテュート・オブ・アートアンドデザインのデザイン科の教授から、日本人は何故ウィリアム・モリスを神様のように言うのか。という問いにたいして答えようとしたことから始まりました。この問い以外にも理由はあったのですが、私はジョニー・カルダーの本に出会い、標記の研究発表となったものです。

19世紀には色々なことがおこり、比較的安定した中世と比べ万事が複雑化した近代または現代に突入したと見ることができるが、イギリスでは産業革命が社会の仕組みを変え、それにバックアップされた形でビクトリア時代を形成した。

ウィリアム・モリスはジョン・ラスキンと並列してその名をあげられることが多いが、ジョン・ラスキンはホームを隠れ家＝セルターと考えたが、かぞえきれない位の思想家や文章家がこのラスキンの影響を受けた。

彼はこんなことを述べている。“そこは危険から身を守るだけでなく、恐怖・疑い・分裂といったものからの隠れ家であり平和の場所である。もし家がなければ気持ちの落ち着きもなく知識もなく愛もなく夫婦の絆もない”

Sesami and Liliesに於いても婦人にとってリアル・ワールドは排除されるべきものであると彼はいつている。

これは何たる言葉であろうか。批評家は、ビクトリアンの生活は舅によって支配される社会であり、“理想の家族”とい

うこと自体男によって一方的に宣言されたものである。と言う。

また、ホームは隠れ家であり婦人はそれを作るものだ。ということであり、これらのことは個人としてだけでなく社会道德と言えるものであった。

しかし考えてみるとパターンイズム（父権主義）はローマ以来の伝統であり、ヘンリー8世が離婚問題でローマ法王から破門され、以後プロテスタントの仲間入りをしたけれども、人々はなおパターンイズムは守り続け、父が外から帰ってきて食卓の前でお祈りをするキリスト教の習慣を続けていたのであるからジョン・ラスキンだけを責めるわけにはいかないであろうが……。

私は標題に関して2つのキーワードが必要であろうと考えた。

オルタネイティブとバナキュラーという言葉である。

オルタネイティブとは反対の立場に立つということで代案とも訳することができる。

オルタネイティブという言葉で印象深いのは英国で生徒がいくつもの案を出したのを私が見て、これは何だということの返事はこれはオルタネイティブですと答えたことでした。日本であればこれらはバリエーションですという答えが返って来るところですが、違う考えで問題を解決しようとするときオルタネイティブという言葉を使うのでしょうか。

ウィリアム・モリスは自分の才能を世に示すためには、デザイン以外にないと考えデザインのやりかたを提案し実行した。このことが彼をデザインの祖と言わしめるところとなった。

しかし、これらが庶民の生活にある種のあるべきでないものを見だし、その正反対のこと即ち社会主義＝共産主義に熱心であったのではなかろうか。

当時、社会悪を改善するためには共産主義の実行以外には考えられなかったからである。

次にバナキュラーという言葉であるが

バナキュラーとは自国の言語という意味で、庶民的とも訳せる言葉である。

これは第一のオルタネイティブとも関係するが彼自身、庶民の立場でものを考えていたように思える。

参会者の中から質問や訂正があったので紙上で答えておきたいとおもいます。

まずウィリアム・モリスにとって工房はオルタネイティブであったかどうかという点ですが、すでに本文の中で発表しましたように、それはNOと思います。

彼のオルタネイティブは社会主義活動であり、決して表に出ることはありませんでした。それは彼がその時代を生きるためには経営者でなければならなかったからではないでしょうか。彼はデザイナーとして活躍しましたが同時に経営者としても立つことになります。(私は三洋電機にいた時に同じような経験をしたので気持ちはよく分かります)

次に研究発表の訂正についてです。

三浦案針(ウィリアム・アダムス)は幕末に日本の将軍に云々と言いましたが、彼は徳川家康につかえていたのでその件おわびと訂

正をお願いいたします。